

## 台湾における当社グループ関係会社の再編および新規事業の開始について

日鉱金属株式会社（本社 東京都港区虎ノ門二丁目、社長 岡田昌徳、以下「日鉱金属」という。）と、日鉱金属の子会社である日鉱商事株式会社（本社 東京都中央区築地一丁目、社長 関根行助）および日鉱コイルセンター株式会社（本社 神奈川県高座郡寒川町、社長 高橋時雄）は、現在、台湾に設立している関係会社3社を、本年4月1日を目途に統合・再編し、統合新会社「台湾日鉱金属股份有限公司」（以下、「台湾日鉱金属」という。）において事業運営を行うことといたしました。併せて、台湾日鉱金属において、台湾におけるリサイクル原料の集荷・前処理事業を新たに開始することといたしました。

日鉱金属グループでは、現在台湾において、電子材料製品の加工・販売等を行う台湾日鉱材料股份有限公司、金属加工製品のスリット・販売を行う台湾日本鉱業股份有限公司および電子材料製品、工業品の販売、金属スクラップ等の集荷・販売を行う台湾日鉱商事股份有限公司の3社がそれぞれ事業活動を行っております。日鉱金属が本年4月1日付けで、資源・素材のグローバルカンパニーとしての更なる成長を期して組織改正を実施することに合わせ、台湾におけるグループ会社の統合・再編を行うことにより、日鉱金属グループのプレゼンスの向上を図りつつ効率的な運営体制を構築することとしたものであります。

また、日鉱金属グループは、日立メタル・リサイクリング・コンプレックス（HMC）計画の推進等、リサイクル事業の発展・拡充に鋭意取り組んでいるところでありますが、その一環として、台湾日鉱金属において台中地域に電子部品層、金銀滓等の購入ならびに破碎等の前処理を実施するリサイクル原料集荷ヤードを建設し、原料集荷力を強化することといたしました。将来的には、同ヤードにおいて溶融処理まで実施することを検討しております。

統合新会社の概要は下記のとおりであります。

台湾日鉱金属では、電材加工製品の販売からリサイクル原料の回収までの幅広い事業領域において、各事業間のシナジーを追求し、台湾における一層の事業の拡大・発展を図ってまいります。

### 台湾日鉱金属の概要

1. 社名	台湾日鉱金属股份有限公司		
2. 所在地・事業内容		所在地	事業内容
	本社・桃園工場	桃園縣八徳市	電子材料製品の加工
	観音工場	桃園縣観音工業区	金属加工製品のスリット・販売
	台中ヤード	彰化縣彰濱工業区	リサイクル原料の集荷
	新竹営業所	新竹縣新竹市	電子材料製品の販売
	台南営業所	台南縣台南市	電子材料製品の販売
	中壢営業所	桃園縣中壢市	工業品の販売、金属スクラップおよび故銅等の集荷・販売
3. 代表者	董事長 木原 徹（当社専務執行役員）		
4. 資本金	NT\$145百万（予定） 日鉱金属株式会社 88.3% 日鉱商事株式会社 10.0% 日鉱コイルセンター株式会社 1.7% 出資		
5. リサイクル原料集荷設備投資	設備投資額 約860百万円 営業開始予定時期 2008年8月		
6. 人員体制	194名（本年4月1日時点での予定）		



台灣日鈺金屬股份有限公司